

JESCO 豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.159)

1. 豊田PCB処理事業部会について

6月15日(木)に平成29年度第1回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会豊田PCB処理事業部会」を開催しました。この部会は、5名の学識経験者で構成され、環境省、愛知県および豊田市からもオブザーバーとしてご出席いただいております。

当事業所では、PCB廃棄物処理施設を事業終了まで健全に稼働させるための中長期保全計画を策定しており、中でも、27年度から29年度までの3年間で処理施設の健全性を維持するための保全改修を重点的に行う期間と定めております。



今回の事業部会では、28年度の保全改修の状況と本年度の計画についてご説明し、PCB処理施設の保全が中長期保全計画に基づき計画的に実施されていることをご確認いただきました。

また、操業開始から28年度末までのPCB処理の進捗状況を報告しました。委員の方々から、PCBの処理が計画通り進んでいるとの評価をいただきました。

2. 施設見学について

平成29年度第1四半期の施設見学者数

	4月	5月	6月	計
団体数	1団体	6団体	5団体	12団体
見学者数	3名	31名	14名	48名

平成29年度第1四半期も、地元市民の皆様をはじめ、保管事業者、行政の方々や各団体など、多くの方々に当施設をご見学いただき、施設見学を通じてPCB廃棄物の処理状況等について理解を深めていただいております。

施設見学をご希望の方は次頁の【豊田PCB処理事業HP】をご参照のうえ、0565-25-3110までお問い合わせください。



3. 豊田PCB廃棄物処理施設 春期定期点検のご報告

豊田PCB廃棄物処理施設では、6月12日(月)～6月23日(金)に、12日間をかけて春期定期点検を行いました。



●災害防止協議会の開催

定期点検開始に先立ち、5月29日(月)に「災害防止協議会」を開催しました。

この協議会は、定期点検期間中の作業において事故や災害を発生させないことを目的に開催しており、作業を実施する各社の担当者が一堂に会して、基本的なルールや安全対策などを確認しました。

また、この定期点検期間中は安全パトロールを行い、作業が安全に行われているか、更なる改善事項がないかを作業現場で確認しました。

●主な点検・工事の実施内容

今回の春期定期点検では、多岐にわたり、点検・工事を行いました。その中から2件の点検・工事についてご紹介します。

・オイルスクラバ回収オイルクーラー整備

真空加熱で蒸散したPCBをオイルスクラバで捕捉します。PCBを含有したスクラバ油はオイル回収塔で分離し再びスクラバ油としてオイルスクラバに供給します。オイル回収塔で蒸留、回収されたスクラバ油は高温であるため回収オイルクーラーで冷却します。長年の使用により汚れ等が付着し、熱効率が低下しますので、解放して点検・清掃等の整備を実施しました。(画像:点検・清掃後のオイルクーラー)



・遠心分離機オーバーホール

遠心分離機は液処理工程にてPCBを無害化した処理済油を液体(油)と固体(スラッジ)に分離するための装置です。

高速で回転している機械であるため、各部に摩耗が生じ、定期的に部品交換が必要となります。非常に精密な組み付けが必要であるため、この定期点検期間中に必要な部分を取り外し、メーカー工場に持ち込んでオーバーホールを実施しました。

(画像:搬出時の様子)



デジ丸

問い合わせ先

アザランのピーちゃん



中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話:0565-25-3110 FAX:0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>